

棚田に吹く風

2019
秋
Autumn
季刊

2 特集

棚田に恋

農林水産省 棚田カード制作チームの取り組み

5 フォトエッセイ

大地の四季

6 棚田・里山からのたより

日本棚田百選 広内・上原地区の

棚田存続への思い

～懐かしい日本の原風景「石積みのお棚田」～

福岡県八女市屋野村

8 ヨネちゃんのニッポン全国

棚田オーナー制度紹介

棚田の逸品

9 棚田博士は今日も行く

名瀬白糸の滝に隣接する平成棚田

静岡県富士宮市原

12 会員のひろば

14 かつどうノート

スタッフのつ・ぶ・や・き

15 Project Report



棚田！心

棚田カード 制作チームの 取り組み

ダムマニアの一言から始まり2007年に国土交通省が実現した「ダムカード」は大きな話題となった。そして2019年夏に、今度は農林水産省が棚田マニアのための「棚田カード」をスタート！期待ふくらむ棚田カードの魅力とは？

農林水産省地域振興課 棚田カードプロジェクトチーム事務局

プロジェクト立ち上げ

昨年10月、当時の農林水産省地域振興課長から「棚田地域を盛り上げる何かができないか」と突然言われ、「ダムカードがあるんだから棚田カードがあってもいいんじゃないか？」というところから始まり、担当係も違う四名が集まり、勝手に棚田カードプロジェクトチームと名乗リスタートしました。そして、どうせやるならトップダウンではなく、県担当者もチームに巻き込み、楽しく進めたいと思ひ、各都道府県の担当者に「棚田カード作りたけれど、どうですか？」とメールを突然送りつけ、プロジェクトへの参加を募りました。こうして、府県担当者をチームメンバーに含めた棚田カードプロジェクトチームを立ち上げました。

地域のみんで担当者会議

毎日、どんなカードを作るか、カードだけじゃダメ、旅行ガイドのようなものがあった方がいい。やっぱりマップ



第一弾の棚田カードは全国56地区



1:メンバーで大山千枚田へ
/ 2:第1回担当者会議の
様子 / 3:第2回担当者会
議の様子、地域の担当者が
集まりました / 4:のぼりも
作成してPRの準備

PR用のポスター完成!

も必要じゃない? 集めてもらうためにどうしたらいい? 若い人を取り込むにはどうする? など、四人で遅くまで話をしました。プロジェクト始動当初は、まとめた内容を各府県担当者にメールして意見や新しいアイデアを出してもらおう、という感じで、各府県のメンバーとはメールでのやりとりでした。でもメールだけでは、やはりどこか遠い感じがしたので、担当者会議を開催しました。集まってくれるのか、きちんと双方の議論ができるのか、当日までは不安でした。しかし、担当者会議に参加してくれた担当者からは、棚田と一緒に盛り上げたいという熱い想いが伝わってきて、また、現場を知っているからこそいろいろな工夫を教えてもらいながら、どうすれば棚田カードをより良いもの、より良い仕組みにできるか活発な議論ができました。その後はチームとして一つになれたように感じられ、このプロジェクトを作って良かったなと改めて感じました。

棚田カードや棚田めぐりガイド等のデザインも大事でしたが、実は、より力が入っていたのはポスターです。ポスターは、棚田を盛り上げるためのキャンペーンとして作成したものです。プロのイラストレーターさんに委託して、若者をターゲットにしたいこと、いかにも行政らしいという堅いものではなく親しみやすいものにしりたいことなどの想いを伝え、形してもらいました。また、女の子の手元の「おにぎり」は、当初提示されたデザインにはなかった



2018年に先行した山形県版棚田カード。県内23カ所を作成・配布



棚田カード: 表には棚田の写真、裏面には、「棚田の基本データ」と「周辺情報」などを掲載



「相田に恋」ポスター



相田めぐりマップ、相田めぐりガイド、相田カード、ミニのぼり旗

のですが、相田と言ったら「お米」、お米と言ったら「おにぎり」でしようと、無理矢理イラストレーターさんをお願いしたのでちょっと違和感ありますが（笑）。

このポスター、女性にはもちろん、当省幹部にも好評です。もし、PRにポスターを使いたい方はご連絡いただければ郵送いたします。あまりに可愛いデザインが出来上がったので、相田地域に可愛いのぼり旗があったら、相田カード配布の目印にもなるかなと思いのぼり旗も作成しました。現在、当課のドア前にはのぼり旗でお出迎え、関係職員の机にミニのぼり旗を置きPRをしています。

ここからが本当のスタート

今回、こうして相田カード、相田めぐりガイドを作成し、配布することができたのは、参加してくれた府県担当者、また、相田地域のみなさんのお力です。発案から発表まで9ヶ月。デザイン作成と同時に、各府県担当者にカードやガイドに掲載する写真や情報の収集をお願いし、3月末にサンプルを作成するという強行業務。その後も本印刷のための諸々の作業の強行業務は続きましたが、みなさんの協力があって、無事準備が整い、7月19日に発表、配布を開始する事が出来ました。

多くの人にカードを集めながら相田地域を巡ってもらい、地域の人との交流、美味しいモノや相田が作り出す美しい風景、歴史などを楽しみながら知ってもらえるように全国的にPRをしていきたいと考えています。相田カードプロジェクトチームの活動はまだ続きます。

相田めぐり

相田めぐり・相田に恋 詳細はホームページで確認！
<http://www.maff.go.jp/j/nousin/tanada/tanadani-koi.html>

相田に恋

検索





龍脊の棚田



中国の棚田に見る 大地の四季

写真・文
福田 伸吉

広西壮族自治区の桂林より西に約100km山間に入った所にある龍脊の棚田。この年は秋の長雨が続きなかなか刈り取りが出来ず、穂も黄色から黄金色に変化し山全体が燃えるような綺麗な黄金色に色づいた。この地方は少数民族瑶族(ヤオ族)が暮らしており、人々の衣装は淡いピンクと黒を基調としたもので、農作業の時もこれを着て作業をする。



福田 伸吉 ふくだ しんきち

1944年群馬県生まれ。1968年から世界各地の蒸気機関車を撮り続ける。蒸機の終焉を期に2012年から棚田撮影に傾注。現在も日本・中国の棚田撮影を継続中。これまでに「蒸機」「棚田」を題材に11回にわたり個展を開催。日本中国写真芸術協会会員。東京都在住。

●最近の個展

- 2012年 「花暮紅雪・中国SLの旅」オリバスギャラリー東京
- 2016年 「美・日本の棚田」コニカミノルタプラザ
- 2017年 「稲掛・日本の棚田」オリバスギャラリー東京
- 2019年 「雲上の棚田を往く」ポートレートギャラリー

●写真集

- 1987年 「蒸気機関車」大塚カラー印刷
- 1996年 「雑遊紀行・悠久なる大地の旅」Bee Books
- 1998年 「雑遊紀行II・世紀末世界を駆けた蒸機」Bee Books



稲刈りをする
瑶族の主婦

棚田・里山
からの
たより



日本棚田百選 広内・上原地区の棚田存続への思い 「懐かしい日本の原風景「石積み」の棚田」

うえはる

福岡県八女市星野村

奈良時代から続く 歴史ある棚田づくり

星野村の棚田の歴史は奈良時代にはじまり、江戸時代の人口増加とともに開墾が進んだといわれています。

これを裏付けるのが、広内地区の棚田で発見された江戸時代の耕作発願碑。石積みに使われた大きな石の側面には「天保八年（1837年）」と刻まれており、これが3年間続いたという天保の大飢饉の翌年に当たることから、飢饉を逃れるために新たな田んぼを開墾し、米を作ったのではないかと推測されています。遥か昔から、棚田は人々の命を支えてきた大切な資源だったのです。

美しく積み上げられた石で できた壁

棚田のほとんどが、精巧な石積みによりつくられています。星野の棚田は急斜面にあるため、田んぼの幅

が山の形に沿って、狭くなったり広くなったりと大きさを変えているのが特徴。幅が1段に満たないところもあれば、長さが300段にもなる田んぼもあるのです。

また、石積みの高さは人の身長よりも高いところがほとんど。その面を良く見ると、表面に凸凹や隙間がなく、垂直に連なっています。その佇まいは精巧に作られた城壁のようでもあり、天に向かう階段のようにも見えると評判。

星野村には農業用ため池がないため、水源のほとんどが上流の川を堰き止めて造った用水路によるもの。星野の山の豊富な水源のおかげで、棚田では農作物が生き生きと育っています。

星野村の中でもっとも美しい石積み棚田とされているのが、広内・上原地区の棚田です。この棚田は、1994年「美しい日本のむら景観コンテスト」で農林水産大臣賞を受賞し、1999年には「日本の



1: 137段続く棚田。この姿を取り戻したい / 2: 休憩中も草刈り / 3: 復田に向けて作業 / 4: IVUSAの皆さん

「棚田百選」にも選ばれました。約12・6畝の広さに425枚、137段に亘って広がる棚田は、山の形に沿った美しい階段模様を眺めることができます。

棚田を守り続ける 棚田保存実行委員会

高齢化や過疎化が進む星野村では、各地域が一体となって地域活性化を図るため様々な取り組みを行っています。「棚田保存実行委員会」が発足し、棚田の大切さや素晴らしさを多くの人々に知ってもらうため、地域の団体や地元保存会で「田植え・稲刈り体験」を都市へ呼びかけ、交流活動の取り組みを行っています。この活動を通じて、より多くの地域や人々が棚田に関心を持ち、活動に参加することが、星野村の活性化と農家への手助けとなり、棚田を守ることに繋がっています。

豪雨による危機的被害 そして復旧へ

平成24年（2012年）7月、九州北部を豪雨が襲いました。星野村ではいたる所で道路が崩壊し、電気・

水道・電話通信機能が停止。一時「陸の孤島」と化し、農地・林地でも同様に全域で被災するなど、未曾有の被害となりました。

広内・上原地区の棚田においても、石積みや用水路の崩壊・土砂の流入により耕作ができなくなるなど、危機的な状況に陥ります。

所有者や棚田保存実行委員会では到底困難な状況のなか、災害復旧ボランティアとして活動していた「NPOがんばりよるよ星野村」が「I VUSA（国際ボランティア学生協会）」と共同で平成26年度より復興支援活動に取り組んでいただきました。2019年には、未だ6枚ですが、地元小学生や学生ボランティア・支援者との田植えにたどり着くことができました。

「これからの未来を担う世代へ、



復旧した棚田で田植え

復旧への思いを繋ぎ棚田が復活し存続することを願っている」と参加された学生ボランティアの思いが災害復興への支えとなっています。

棚田百選以外、 鹿里地区の棚田

旧星野村の中でも標高の高い鹿里集落。少し開けた地形に、壮大なスケールの棚田が広がっています。鹿里集落は17戸、約40名ほどの小さな集落です。

この地区は代表的な中山間地域で、都市部での農山村への関心の高まりを背景に、住民自ら積極的に体験型交流事業を展開しています。代

棚田へのアクセス

- 【公共交通】 久大本線・うきは駅前よりタクシーで約15分。従来は八女市側からバスを乗り継ぐルートが主だったが、2018年合瀬耳納（おうぜみのう）トンネル開通により、うきは市側からのアプローチが便利になった
- 【自動車】 大分自動車道朝倉ICより県道80号、52号線を経由し合瀬耳納トンネルを抜けるとすぐ。県道脇に広い展望台があるので分かりやすい。ICから17km

お問い合わせ

八女市星野支所建設経済課観光担当
Tel. 0943-52-3114



鹿里地区の棚田

表的なイベントとして、毎年9月下旬の「星野村鹿里棚田彼岸花まつり」があります。カメラマンも多く、近年地元で収穫された農産物を使った食の提供も人気の一つとなっています。そのほか、来訪客のニーズに合わせて田植え・稲刈り体験を行う年もあります。

（八女市星野支所観光係 二田房二）

オーナー制度の会費は年間30,000円で、田植え、稲刈り、収穫等、年間を通して田んぼでは作業があるわ。他にも自由参加として、水路の清掃作業などもあるわよ!



第十九回は
大中尾の棚田をご紹介しますわ!

長崎県長崎市の神浦大中尾地区に位置していて、起源は戦国時代から江戸時代と言われている。歴史ある棚田よ。神浦川は日本一の清流の認定を受けたこともあって、清流に育まれたお米はととても美味しいと評判なの!

収穫時には白米が30kgもらえるわ。他にも、作業時に食事の提供が1グループにつき4人まであるそうよ。ありがたいわね。その他、毎年地元で採れた野菜や加工品(かりんとう、かんころ餅、味噌、里芋、甘しょ等)の送付もあるそうよ。嬉しいわね~♪



次のオーナー募集は来春よ/大中尾棚田保全組合まで問い合わせみてね!

こちらもチェックしてみてネ! /
棚田オーナー募集地域紹介サイト

棚田百貨堂 検索

ヨネちゃんの



ニッポン全国
棚田オーナー制度紹介
第十九回

第十九回

「日本の棚田百選」や「死ぬまでに行きたい世界の絶景」にも選ばれている大山千枚田(運営: NPO法人大山千枚田保存会)。この地域は日本酪農発祥の地。そのため酪農家が多く、子牛が生まれて暫くの間出荷できないお乳を固めて食材としてきた。そのような郷土料理と美味しい棚田の長狭米を中心とした食事を提供するため、棚田に隣接して築100年の古民家を移築。レストランこんべいとして2016年に営業開始。この食材、一般的にはカッテージチーズと呼ばれ、この地方ではスバリ「乳つこ固めた」の。現在では、保存会が2001年の季刊誌で紹介した「チッコカクメターノ」という名前でテレビにも紹介されている。作り方は簡単、牛乳(市販のものでOK) 1000ccを80℃位まで温め、酢大さじ4を少しずつ加え静かにかき回す。分離してきたら濾して出来上がり。レストランこんべいでは、ネギやゴボウと炊き込んだ「ちっこ井」、長狭米100%の麺の上にのせた「ちっこ米麺」、そして玉ねぎや卵とパテに焼き、ちみじで炊いた究極のご飯で挟む「チッコライスバーガー」などがメニューに。

今年10月26、27日に開催される「棚田の夜祭り」(3千本の松明と1万本のLEDの灯りの中、幻想的なステージが繰り広げられる。LEDは来年お正月まで点灯)でも、栄養満点の「チッコライスバーガー」は屋台にお目見えするはず。

レストランこんべいのチッコライスバーガー

特選
棚田の逸品

千葉県鴨川市
大山千枚田



- チッコライスバーガー 味噌汁付き 600円/ハーフサイズ 400円
- ちっこ井 味噌汁付き 800円
- ちっこ米麺 800円

レストランこんべい 営業時間:午前10時~午後5時 定休:火曜日
☎04-7099-9052



棚田博士 は 今日も行く!

中島峰広の
全国棚田行脚

名瀑白糸の滝に隣接する 平成棚田 静岡県富士宮市原

富士宮市は県東部、富士山の南西麓に位置する工業都市。原は富士宮の中心市街地の北8km、名瀑・白糸の滝に隣接する農業集落。「平成」を冠しているのは平成の間に圃場整備が行われたためである。昨年12月のエコプロ展に棚田の村の一員として参加していたことにより、その存在を知った。

2019年3月下旬、富士宮市原を訪ねた。東京からだとう東海道新幹線で三島まで行き、在来線に乗り換えて東海道線の富士を経由、身延線に入り富士宮で下車する。富士宮駅前からは2番乗り場の富士急行バスの「足形」か「猪の頭」行きに乗れば原まで直行できるが、1日6便の運行しかない。500mほど歩くのを覚悟すれば1日27便ある白糸の滝行きを利用することができる。

その経路は、駅前から線路に平行して走る県道414号を西へ、浅間大社南交差点を右折、県道180号を富士山に向かって東進する。しばらく走り左折、国道139号を北上、上井手インターチェンジで県道72号に入り、さらに県道414号を西へ進めば原に到着する。

棚田は、富士山麓の標高450〜550mの傾斜15分の1の比較的緩い傾斜面に拓かれており、江戸時代以前の開発といわれる。圃場整備が行われる前の写真を見ると、方向こそバラバラであるが10枚前後がまとまり、10数か所の団地を形成。形は長方形で、一枚が4〜5mほどの大きさの棚田であった。現在のような整然としたものではないが、かつて畝町直しの整備が行われたのではないかと思われる。

平成の圃場整備は、記念碑があれば昭和62年に設立された原地区の320戸の農家で構成される白糸土地改良区が事業主体。受益面積157畝、営農事業により平成元年に工事に着手、19年に完成した。実質的には数年のうちに圃場は整備され、事業費のうち10%の農家負担金も早々に集金、いつでも返還できるようにになっているようだ。

現在の棚田は、筋道と呼ばれる南北を貫く4本の直線道路で区画され、一辺が50mほどの正方形の圃場、一枚の大きさが25m前後、法面

平成の圃場整備事業

なかしま みのる
中島 峰広 (棚田博士)

早稲田大学名誉教授。学術博士。NPO法人棚田ネットワーク代表。全国棚田(千枚田)連絡協議会理事、棚田サミット開催地選定委員会委員長。1933年宮崎県生まれ。早稲田大学教育学部地理科卒。2004年まで早稲田大学教育学部教授。著書に『日本の棚田—保全への取り組み』『百道の棚田を歩く』『続・百道の棚田を歩く』『棚田 その守り人』(以上、古今書院)。現在、百道外の棚田についての執筆準備のため全国行脚中。



の高さは2〜4mの土坡であるが、下部の50cm程度はコンクリート壁になっている。用水は地下配管のバルブで供給、バルブで給水される。圃場の一边には軽トラックが乗り入れできる農道が設けられ、平坦地なみの圃場である。

保存団体から 株式会社設立へ

現地では、圃場整備事業完了後、多面的機能支払の受け皿として結成された「いいな故里守ろう原睦み会」の会長・副会長、新旧二人の事務局長に会うことができた。会長の渡辺勝さんは97歳、4年前に奥さんを亡くされ、現在は長男夫婦との世帯である。高等小学校を卒業後、日本電建に入社、23歳の時召集を受



1: 広く整備された道路 / 2: バルブからの給水 / 3: 圃場整備前の写真 / 4: 左から佐藤さん、渡辺さん、宇居さん / 5: 酒井良則さん

け陸軍に入隊、千島列島パラムシル(幌筵)で終戦を迎えた。それから4年間コウリヤンで命を繋ぎ、重労働の伐採作業に従事するシベリアでの抑留生活に耐え、昭和24年に帰国した。郷里ではしばらく父親を助けて農業に従事した後、農協に入り30年間定年まで勤務した。定年後は圃場整備事業の推進をリード、白糸土地改良区の総代を務めた。水田は33[㍓]、2枚を所有、3年前まで耕作していたが、現在は副会長と弟に全面委託しているという。百歳を目前にしなが、足が多少不自由なほかは補聴器なしで会話ができ、かくしゃくたるもので伝説的な長老である。

副会長の酒井良則さん(70歳)は奥さんと二人だけの世帯。父親が高校3年生の時に亡くなったので、卒業と同時に富士開拓農協に入り、60歳の定年まで40年間兼業農家として頑張ってきた。水田25[㍓]、6枚を維持するとともに50歳の頃から300頭の豚の飼育も行った。5年前に養豚は止め、離農した農家5戸から10[㍓]当たり玄米30kgの小作料を払い水田を借り入れ、3・5[㍓]の水田を耕作する米作専業農家になった。

所有する機械類は、21馬力のトラクター、乗用5条田植機、4条刈グレイコンバイン、種まき機、直播田植機など平地の大規模農家なみの装備である。しかしいずれも中古機を購入、自分で修理も行うそう

昨年、米作農家としてさらなるステップアップを目指し、資本金200万円を株式会社富士山白糸ファームを設立。農地の委託者20人を出資者として水田5・5[㍓]を活用しての米作りを目指している。増加した水田面積75[㍓]分は県の中間管理機構から無償で借り受けている。労力としては農業体験のない定年退職者3名を時給1000円で雇用、機械類も5[㍓]を超える規模では30馬力のトラクター2台と5条田植機も2台は必要だと仰る。

栽培方法も工夫が必要で、田植方式だと育苗1か月の期間を要するため、直播を考えているという。しかし簡単ではなく、そのまま種子を播くと鳥に食べられてしまうので、鉄粉でコーティングしなければならぬ。そこで、今年は県の試験場に30[㍓]分のコーティングを依頼し、直播栽培を始めるそうだ。

富士山麓の天然水で 本格的な米作

収穫されるコメは、富士山からの湧水を水源とする芝川からの用水に依存するため、水温が低く反収は6俵前後にとどまる。これを道の駅や農民市場へ60kg当たり2万

円を出荷しているが、販売量を増やすため、集落内で5畝の水田を耕作する佐野彰さん（79歳）から60kg 1万7千円で100俵購入しているという。棚田地域では珍しい本格的な米作農家である。

現事務局長の佐藤俊治さん（71歳）は奥さんと二人の世帯。地元の高校から大学に進学、卒業とともに富士宮市役所に入庁、主として財務関係を担当、60歳の定年まで勤めた。水田20アを所有しているが、家が酒・たばこ・塩などの政府の専売品を販売する商店であったため、早くに酒井さんに耕作を委託していた。

しかし、その経歴から長く区長を務め、現在でも集落から役所に提出する書類作成などでは手腕を発揮、頼りになる存在だ。

前事務局長の宇居邦明さん（66歳）は群馬県沼田市出身の1ターイン。沼田の高校を卒業後、大学を経て紙関連の商社に入社、48歳の時王子製紙系の企業に移り、富士宮市原地区に転居してきた。世帯は奥さんのほか保育士と図書館司書を務める2人のお嬢さんとの4人家族。60歳の定年を迎える数年前から6ア、2枚の棚田を借りて米作りを始め、

4年前に「睦み会」にも入り、パソコン操作の手腕が買われて事務局長になった。その職を佐藤さんに譲ったのは沼田に住む母親の介護が始まったためであり、会の活動に対する情熱は失っていない。

新たな行事に多くの来場者

「睦み会」は、地域資源の保全管理や農村景観の向上等に取り組んでいるが、最も主要な行事として3年前から「富士山白糸平成棚田祭り」を始めた。富士山に因む2月23日に開催され、標高と同じ3776本の竹灯籠が灯される。野外コンサート、フリーマーケット、特産品販売なども行われ、1万人の来場者があるそうだ。

原地区ではこれまで述べてきた



佐藤俊治さん

ように、棚田でありながら圃場整備事業により、大きい区画の圃場と近代的な灌漑施設を備えたことで、脱農した農家の水田を吸収する酒井さんや佐野さんのような大規模な米作農家が生まれ、あわせて「睦み会」の活動などにより放棄地の目立たない景観が作り出されてきた。しかし、今後担い手の高齢化により耕作放棄地の増大が懸念されるが、その受け皿としてとくに株式会社富士山白糸ファームの発展が期待されるところだ。

棚田へのアクセス



【公共交通】身延線富士宮駅前より富士急行バスの白糸の滝行きに乗車し、終点で下車。所要時間は約30分。棚田まではさらに徒歩で10分。バスの運行本数は1日27便と比較的多い

【自動車】新東名高速道路・新富士ICより、国道139号線を北上し上井出ICより白糸の滝を目標に進む。ICより16km、約25分



上：ウォーキングコースの紹介
左：白糸の滝



郷土の棚田に 導いてくれる “二人の師”

岡山県岡山市 村上 裕康



会員の皆さまこんにちは。私はNHKの岡山局で番組制作をしております。

大学時代に中島峰広先生の薫陶を受け、入局後は各地で棚田の番組を制作したあと、4年前に出身地の岡山に転動して参りました。岡山県はたいへん「棚田密度」の濃い場所です。

最初に県内の棚田を訪ねたのは3年前、中島先生に旧英田町の上山棚田をご案内いただいた際です。いつか番組にしたいと思いつつながら時間が過ぎていきましたが、ここ半年の間に急激に棚田への熱が再燃しています。そのきっかけは小学校の恩師・玉木陽一先生との再会です。別の番組の取材で、偶然お名前を見かけ、40年ぶりにお目にかかった先生。いまは旧中央町で戦国の山城を整備して地域振興につなげていらっしゃいます。玉木先生には、5月に田植え直後の「大井和西」の棚田、7月に「北庄」の棚田をご案内いただきました。周辺はほかにも「小山」や「上棚」などの百選棚田が点在し、地元の玉木先生にはどれも自慢で一日で全部見せたいご様子でしたが、「それでは感動がうすれてしまう」と遠慮しました。もう一つ、「県内の百選棚田に最初に行くときはきつと中島先生とご一緒に」との理由もあったからでしたが…。ともあれ、いままで未踏だったのを悔いました。次の訪問が楽しみです。

「上山」を見て以来、外出して棚田を見つかるたびに「中島先生にお伝えしたい」とチェックしておりますが、今回玉木先生に大井和西にお連れいただいたおかげで、「これは！」という場所に出会いました。会員の皆さまにも特別にお知らせしますので、是非お出かけください。

それは大井和西の南西、和田北の「金地」という地区にある、西向き急勾配に展開する棚田です。玉木先生が校長をしていたころの教諭が、定年後実家の農家を継いでいらっしゃるということで、立ち寄ってくださいました。旭川に合流する大瀬川がV字に深くけずりとり、対岸には標高300mまで一気に続く橋原の棚田が望める雄大な景色です。谷へ下る斜面は「奈落の底に落ちるか」と思うほど急で、「スイカを落としたり永遠に転がっていった」との元先生の言葉もうなずけます。こんな奥まった場所ですが、この地で代々農家をしている元先生だけでなく、近年都会からの移住者も相次ぎ、また対岸の棚田も含めて耕作率はかなりの高さのほります。

岡山の曲線おだやかな山を見慣れた目には、異次元なほどの美しい光景。しかし私には、農業への信念と収穫の楽しさを兼ねた「桃源郷」にも思えてきました。

岡山の風土の奥の深さを感じることできた棚田でもありました。

会員のひろば



会員の声募集!

「こんな活動をしています」「こんなことやります」という皆さんの声を編集部までお寄せください！ご要望、感想やご質問でもOK！（会員の声800字まで、会員レポート400字まで、写真も添えて）〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-18-16 トーシンハイム704号「棚田に吹く風」会員のひろば」宛 メールでも受け付けています♡ hiroba@tanada.or.jp

会員の Best Shot!

会員のみなさんの ベストショット募集!!



みなさんが撮影した棚田や作業風景の写真など、ベストショットをコメント(70文字程度)を添えて編集部まで送ってください。毎号、紹介させていただきます！送り先は下記。

〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-18-16
トーシンハイム704号
「棚田に吹く風 ベストショット」宛
メールでも受け付けています
⇒ hiroba@tanada.or.jp



内成棚田

大分県別府市 後藤 幸彦

毎年2月の20日前後に行われる遊休農地の野焼きです。今でも千枚を超える田圃が耕作されています。野焼をしなくてもいい日が来ることを夢見しています。

棚田に思う



会員さんから寄せられた棚田の雑記。「棚田に思うこと」を語ってもらいます。

東京都国分寺市 大野政智

2017年12月のエコプロの会場で、たまたま目にした棚田の美しい写真に魅せられて、活動を少しでも支援できればと棚田ネットワークに入会しました。

私が住んでいる国分寺市には、武蔵野台地を昔の多摩川が削った国分寺崖線があり、崖下の湧水が野川の源流になっています。台地の上には玉川上水の分水である砂川用水が流れており、水に縁が深い所です。私は仲間と「美しい用水の会」を作っています。用水のような人工の流れは、常に維持管理をしなければ流れが止まり荒れてしまいます。水のない水路は殺伐としたものです。水が流れているからこそ人々に潤いを与えることができるのです。

棚田も同じですね。会報で棚田の美しい風景の写真を拝見させていただく時、多くの方々の大変な努力があつてこれが維持されているのだらうなと、思いを馳せています。今は棚田に出かけることはあまりありませんが、これからでもできるかぎり協力や支援をしてゆければと思います。



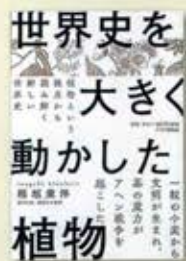
編集部イチオシ! BOOK & MOVIE



引越し大名!

©2019 「引越し大名!」製作委員会
2019年/日本/監督:犬童一心
出演:星野源、高橋一生、高畑充希 ほか

姫路藩書庫番の片桐春之介(星野源)は、人と話すのが苦手な引きこもり侍。あるとき、姫路から大分への国替え(引越し)の総責任者を春之介が任せられることに。当時の「引越し」は全ての藩士とその家族全員で移動するという超難関プロジェクト。果たして春之介はこのプロジェクトを救うことができるのだろうか!?
煙の棚田は、絶景。



著者: 稲垣栄洋
1,400円(+税)
出版社: PHP出版
2018年6月

世界史を大きく動かした植物

人間は食物を食べなければ生きていけない。そしてその食物は、元をたたせばすべて植物である。つまり人間は植物によってつくられている。だから人間の歴史もまた植物によって大きく動かされている。コムギ、イネ、コショウ、トウガラシ、トマト、ジャガイモ、チャ、ワタ、サトウキビ、ダイズ、タマネギ他、人間と植物が織りなすダイナミックな悲喜劇を静岡大学農学部教授がウィットに富んだ語り口で描きます。日常何気ない食べ物の見方がガラッと変わります。



このコーナーでは、棚田ネットワークのスタッフの活動や事務局のことなどを幅広くお伝えしていきます。

棚田NAVIプロジェクトがスタート

2019年6月21日 報告 高桑 智雄

全国の棚田を地域別やカテゴリー別に検索できるポータルサイト制作プロジェクトが6月にスタートしました。サイト名は「棚田NAVI-全国棚田(千枚田)検索サイト」に決定! まずは50カ所の掲載を目標に今冬オープンとの予定で制作しています。農林水産省の棚田カードとの連携なども進めていて、完成すれば棚田業界注目のピックアップコンテンツになるかもしれません。ページ制作や現地確認などの作業をお手伝いいただける方、ぜひ、お問い合わせ下さい!

旧暦棚田ごよみプロジェクト始動

2019年7月12日 報告 久野 大輔

「旧暦棚田ごよみ」は、来年度で8年目をむかえます。来年度は令和初で、しかも3年に一度(2年の時もある)の閏月の年、そして10月13日、14日の山口県長門市で行われる「全国棚田(千枚田)サミット」に出品するために、早めの制作プロジェクトを立ち上げました。平成31年版は、おかげさまで1000部完売。Amazonでの売り上げも着実に増えてきて、地道ながら少しずつ認知されてきています。令和2年版も素敵なおよみにしよう、チーム一同張りきっています。



棚田NAVI

全国棚田(千枚田)検索サイト

棚田NAVI

故郷は、波のように流れ落ちてくる棚田を登り切ったところにある山里です。小学校はその田んぼと、薄暗い杉山を貫けてしばらく行ったところにありました。行きは坂を駆け下りるので20分ほどで着いたでしょうか? でも帰りは・・・「行きはヨイヨイ帰りは怖い。」とよく歌ったものです。田んぼの道は、段差の少ない畔を選んで歩いていううちに出来上がったような、獣道ならぬ仕事道で、春から収穫までは寄り道をして遊べるスペースはありませんでした。ただ、なぜこんな田んぼの真ん中に?と思うほど大きな石があり、深くえぐれたその下は、夏はひんやりと涼しく休憩を兼ねた絶好の遊び場でした。また、石を囲むように階段を上ると傾斜があり、肌寒い頃は暖められたその石に体を添わせるととても気持ち良かった記憶があります。この石には欄がなく危険な為、登ることは禁止されていますが(今でも禁止です。絶対に登らないでください。景色は標高が高い里から見ると絶対美しい)白状するとお転婆だった私は何度か登頂を試みました。ただ、お転婆以上に高所恐怖症の為、いつも中ほどで挫折しました。

田んぼの真ん中に道が通り、石のすぐ下を車が走るようになった今、昔の「やつとこごまでたとり着いた。」という安堵感は味わえなくなりましたが、相変わらずあのひんやり感が残っていて、石の下に寝転んで風を感じながら本を読む姿を想像すると、都会の生活にちょっと疲れた時など心がホッと温かくなります。

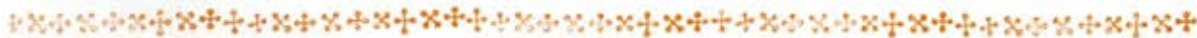
さて秋になり稲穂も片づけられた頃です。稲の切り株をサクサク踏んで堂々と遊べる季節になりました。農家の人に断って切り株ふみながら田んぼに入ってみようかな。

スタッフの
つ・ぶ・や・き
＜輪番制＞



今回のつぶやき人

事務局
満月生まれ



千葉県鴨川市

川代棚田でお米づくり

令和初の稲刈り体験



鴨川市川代の稲刈り体験は、ゼンリンデータコムの子員研修が8月30日（金）。一般参加者は9月1日（日）に行いました。今年は梅雨明けが遅く生育の遅れが心配されましたが、8月の猛暑で回復し出来は良いとのことでした。

8月30日は、土砂降りの雨も稲刈りを始めると止み、25名の参加者は鎌の使い方、稲の結束、ハサ掛けなど指導を受けながら無事完了することが出来ました。

9月1日は12名の参加で、厳しい残暑のなか、汗びっしょりになりながら取り組みました。お子さんや初めての方もあり、全部できるか心配されましたが順調に進み、昼少し過ぎには無事ハサ掛けまで終わりました。お昼は地元婦人部による手作りカレー弁当を木陰でいただきながらの交流会。自分たちで収穫したおこめを早く食べたいなどの声も聞かれ、うれしい限りです。また、参加者には農林水産省が7月から始めた棚田めぐりマップと棚田カードが地元からプレゼントされました。参加された皆さま大変お疲れ様でした。新米を楽しみにしましょう。

(杉山 行男)

岐阜県恵那市

棚田ビオトープ プロジェクト

かえるの卵を探そう!



暑さが止むと言われる二十四節気の処暑のころ、8月24日（土）午前10時から、こどもビオトープ観察会が開催されました。

今年は晴れ（暑い）、12名（大人5名、子供7名）の参加があり、棚田ビオトープで様々な生物を採取しました。お盆の時期に多いウスバキトンボ、コバネイナゴ、トノサマガエル、サワガニ、カワニナ、コナギ、ミソハギ、ヘビイチゴなどを採取しました。1時間ほどで終了、子供たちと採取した生物を確認した後、拠点施設である「なごみの家」のテラスで、ゆっくり植物を確認しました。

これで夏休みも終盤となりました。良い夏休みの思い出になったでしょうか。

なお、9月28日（土）に開催予定の棚田ビオトープの稲刈りについては次回報告します。

(相田 明)

静岡県松崎町

石部棚田で昔ながらの米づくり

夏の草刈り・草取り(7月初旬/8月下旬)



7月6日・7日と8月31日・9月1日に畦の草刈りと田の草取りを行いました。一回目は、6名のベテランの方々にご参加いただきました！少数精鋭「1日で終わらせるぞ！」と意気込んで始めたものの、雨が。。本降りになってきたため途中で断念、次の日に持ち越しに。日曜日は地元の地曳き納祭だったので、今年は参加できず。ひたすら雑草と格闘した2日間でした。(久野大輔)

2回目は7名の参加で、汗ばむくらいの好天でした。今年はノビエ（イネに似たイネ科の草で、食べられるヒエとは違う）の繁殖が激しく、大きく成長してしまった株を引き抜くのが大変でした。日照率が低くて心配されましたが、イネはいつもより丈が大きく稲穂もたわわについています。さて、あとは稲刈りを待つばかり。稲刈りは10月5日、6日を予定しておりますので、ぜひご参加下さい！

(高桑 智雄)

旧暦 棚田 ごよみ



令和も作ります!

使いづらい、だけど美しい! 始めてみよう『旧暦生活』

月の満ち欠けでひと月を知り、太陽の動きで季節の移り変わりを感じていた「旧暦」での暮らし。旧暦棚田ごよみは、四季折々の美しい棚田の風景とともに、暦で「季節感」を味わうことのできる旧暦カレンダーです。

壁掛けタイプ

A4(縦210×横297mm) ※開くとタテA3サイズ



旧暦がわかる『ミニブック』付いています!



四季折々の棚田風景

二十四節気七十二候雑節を表示

新暦表示もあり!

月の満ち欠けイラスト入り!

注文サイトQRコード



¥1,300(税込)

5部セット

¥6,000(税込)

※送料は別途かかります。

5部セットがお得! 贈答用にどうぞ!

ご購入は

TEL. 03-5386-4001 もしくは棚田ネットワークHPから

●お電話受付時間 13:00~17:00 ※土日祝をのぞく

※このカレンダーは、旧暦の元日(令和2年は1月25日)から始まります。新暦表示は令和2年1月25日(火)から翌年2月11日(木・祝)までです。



わたしたちと『棚田の応援団』、やりませんか!

棚田ネットワークは「棚田の保全に協力したい!」という会員によって自主的に運営されているNPOです。消えゆく美しい「棚田」をどのように保全していくことができるのでしょうか?一緒に考えませんか?ぜひ、私たちと棚田の応援団になりましょう!

会員になろう!

私たちは、会報誌「棚田に吹く風(年4回)」やホームページで豊富な棚田情報を発信しています。会員になりこれらの活動に参加してみませんか?

年会費

- 個人会員
 - 維持会員 1口1万円(1口以上)
 - 一般会員 4,000円
 - 応援会員 3,000円
 - 学生会員 2,000円

法人会員を募集しています!

私たちは、棚田を守るため、農山村の人々と都市住民双方の協力のもとに様々なプログラムを企画・運営しています。これらの社会貢献活動に賛同し、ご支援いただける企業・団体・事業主様を募集しています。詳細はお問い合わせ下さい。

年会費

- 法人会員(賛助会員)
 - 1口3万円(1口以上)

房総半島は台風15号により甚大な被害を受けました。この地域の棚田は早場米の産地で刈り取りのピークを過ぎていたので直接の被害は幸い軽微でした。台風通過から一週間後、棚田ネットワークの体験フィールドである川代棚田で新米の引き渡しがあり車で取りに行きました。アクアラインから房総スカイライン経由で川代棚田、長狭街道、大山千枚田を訪ねました。沿道を見る限りブルーシートの民家が所どころに見られましたが、電柱の倒壊や倒木は見られませんでした。川代集落は3日間の停電で済みましたが精米機などが使えず大幅な遅れが。大山千枚田の平塚集落は停電が10日以上にも及び生活に大きなダメージを受けました。

編集部から

ホームページの姿を見て!

棚田ネットのWebサイトも見てみてください!



<https://www.tanada.or.jp>



2019年 秋号 Vol.113

発行 認定NPO法人 棚田ネットワーク

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-18-16 トーシンハイム 704号
Tel / Fax 03-5386-4001
e-mail : info@tanada.or.jp URL : www.tanada.or.jp
郵便振替口座 : 00100-7-151565